

改定内容

平成28年5月に閣議決定された国の「地球温暖化対策計画」による新たな温室効果ガスの削減目標との整合性を図る。

「やまなしエネルギービジョン」の施策展開、目標との整合性を図る。

温室効果ガスを減らす「緩和策」に加えて、国の適応計画を踏まえ、新たに温暖化による悪影響に備える「適応策」の取り組みを提示する。

県民にわかりやすい進行管理指標を設定する。

削減目標

国の「地球温暖化対策計画」に基づいた計画期間、基準年度、中期目標、長期ビジョンとし、目標は以下のとおりとする。

短期目標は国の計画では設定されていないが、計画が長期であり、2020(H32)年度までに見直される予定のため設定する。

計画	国計画	改定(案)	現実行計画
策定	2016(H28.5)	2017(H29.3)	2014(H26.3)
計画期間	2016(H28)年度～ 2030(H42)年度	2017(H29)年度～ 2030(H42)年度	2013(H25)年度～ 2020(H32)年度
基準年度	2013(H25)年度	2013(H25)年度	2010(H22)年度
短期目標	-	2020(H32)年度	2015(H27)年度
温室効果ガス削減目標	-	18%	10%
中期目標	2030(H42)年度	2030(H42)年度	2020(H32)年度
温室効果ガス削減目標	26%	26%	16%
長期ビジョン	2050(H62)年	2050(H62)年	概ね2050(H62)年
温室効果ガス削減目標	80%	「CO2ゼロやまなし」 の実現を目指す	「CO2ゼロやまなし」 の実現を目指す

進行管理指標

温室効果ガスの削減目標の達成状況等を検証する「進行管理指標」を設定し、県民に分かりやすく、取り組みの励みにもなる指標を加える。
進行管理指標の一覧は別紙のとおり

緩和策

新たに策定・改定した県の行政計画(やまなしエネルギービジョン等)を反映

国民運動「COOL CHOICE(クールビズ等)」を踏まえた、「やまなし省エネ県民運動」等の更なる展開を図る

県民、事業者が具体的な取り組みを進めるため、新たにガイドブック編を掲載

新規追加:適応策

< 主な適応策 > 分野・項目は国の適応計画を参考に、本県の状況に合うものを選択

分野・項目	適応策	方向性	担当所属	
農 業	水 稻	・胴割れや未成熟を生む高温障害に対する軽減技術の開発、現地実証、普及推進	・高温に強い品種の選抜 ・研究成果を基にした実証展示・栽培管理指導の実施	総合農業技術センター 農務事務所
	果 樹	・品質低下や収穫量減少を防ぐ新たな技術対策の確立、安定生産に向けた指導	・新たな技術対策の確立 ・確立された技術の現地実証・定着指導	果樹試験場 農務事務所
	病虫害等	・病虫害発生予察事業による防除適期の把握	・発生データの蓄積や解析による適切な予察の実行 ・病害発生後対策の徹底	病虫害防除所 畜産試験場 家畜保健衛生所
自然生態系	・松くい虫被害まん延防止のためのマツノマダラカミキリの駆除	・被害拡大防止事業の継続	森林総合研究所	
自然災害	水 害	・河川整備計画に基づく河川整備	・過去の浸水実績等を考慮した優先順位による河川改修・整備	農務事務所 建設事務所
		・水防計画の策定、水防訓練の実施等 ・農業用水利施設の整備	・避難・情報伝達等のソフト対策の推進 ・農業用水利施設等の整備	
健康	・熱中症予防に係る普及啓発の実施	・普及啓発の継続	保健所	
県民生活	・公共施設への緑地整備 ・緑のカーテン運動の推進	・公共施設への緑地整備 ・ぶどうを利用した緑のカーテン運動の推進	みどり自然課 森林環境総務課	

1 産業部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	排出抑制計画提出事業者（製造業）の原単位CO ₂ 排出量（2013年度増減率との比較）	-	11%	19%	省エネ法年1%削減努力から設定
2	コージェネレーション導入量	2.5万kW	4.9万kW	8.5万kW	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
3	エコアクション2.1取得事業者件数	23件	44件	74件	本県のエコアクションの登録件数から設定

2 業務部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	排出抑制計画提出事業者（業務系）の原単位CO ₂ 排出量（2013年度増減率との比較）		7%	16%	省エネ法年1%削減努力から設定
2	やまなしエネルギー環境マネジメントシステムの環境目標達成状況（2013年度増減率との比較）		18%	26%	本計画の短期目標、中期目標と同一値を設定
3	床面積当たりのエネルギー消費量（MJ/m ² ）	1,923MJ/m ²	1,688MJ/m ²	1,506MJ/m ²	削減対策後のエネルギー消費量から設定

J（ジュール）：全てのエネルギーを表すのに使われる世界共通の単位で熱量を表す。
MJ（メガジュール）は1,000,000J（ジュール）

主なエネルギー消費単位は次のとおり

・ガソリン1L当たり33.37MJ ・軽油1L当たり38.04MJ ・都市ガス1m³当たり45MJ
・灯油1L当たり36.49MJ ・A重油1L当たり38.90MJ ・電力1kWh当たり3.6MJ

3 家庭部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	ZEH補助金交付決定件数（累計）	19件	485件	1,245件	交付決定実績(H27)から設定
2	認定低炭素住宅件数（累計）	5件	55件	155件	認定件数実績(H25～27)から設定
3	世帯当たりの灯油消費量	277L	258L	229L	削減対策後の灯油消費量から設定
4	マイバック持参率	86.2%	87.1%	88.1%	協定店舗におけるマイバック持参率
5	環境家計簿回収率	23%	25%	32%	H22の開始時からH27までの回収率から設定
6	地球温暖化対策地域協議会 環境省登録件数	7件	10件	16件	県内の地球温暖化対策地域協議会登録件数
7	地球温暖化防止活動推進員による研修会等参加者数		1,400人	2,800人	地球温暖化防止活動推進員の定員をベースに設定

4 運輸部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	次世代自動車普及率 新規登録台数に占める割合	33%	50%	70%	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
2	エコドライブ宣言車両率	20.0%	22.5%	26.1%	第2次山梨県環境基本計画（H26～35）の環境指標に基づき設定

5 廃棄物部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	1人1日当たりに家庭から排出するごみの量	589g/日	550g/日	-	第3次山梨県廃棄物総合計画（H28～32）において設定
2	一般廃棄物の再生利用率	16.6%	23%	-	第3次山梨県廃棄物総合計画（H28～32）において設定

2030年度の目標値は、国の基本方針が示された段階で設定することとする。（2020年度の目標値は、国の基本方針を踏まえて設定したもの。）

6 クリーンエネルギー等部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	太陽光発電(10kW未満)導入出力	8万kW	14万kW	22万kW	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
2	小水力(1,000kW未満)発電導入出力	1.0万kW	1.2万kW	1.5万kW	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
3	水力(1,000kW以上)発電導入出力	38.0万kW	40.2万kW	40.3万kW	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
4	クリーンエネルギー等による電力自給率	32.1%	51%	70%	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
5	木質バイオマス利用施設数	20施設	29施設	39施設	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
6	バイオマス発電導入出力	0.6万kW	2万kW	3万kW	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
7	地中熱ヒートポンプ導入台数	33台	100台	900台	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定
8	家庭用燃料電池普及台数	340台	2,471台	34,000台	やまなしエネルギービジョン（H28～42）を踏まえて設定

7 横断的部門

No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備 考
1	クールシェアスポット賛同団体数	-	10団体	20団体	H29の賛同想定団体数から設定
2	緑のカーテン取り組み情報応募数	67件	110件	210件	H28の緑のカーテンセミナー参加想定数から設定